

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 主幹動脈閉塞脳梗塞における脳灌流画像から得られる虚血コア、ペナンブラ領域と治療結果の検討、及び治療による急性期神経障害と予後予測因子の検討』
研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院
研究責任者 脳神経外科 職位・氏名 助教・藤田 聡

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科では、主幹動脈閉塞(大脳に血液を供給する主要な血管が詰まってしまうこと)による脳梗塞を発症した患者さんに対し、大脳への血液の供給状態を詳細に解析可能なソフトウェアを用いて脳血流を評価し、最適な治療方針を迅速に決定することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、より良い脳梗塞治療のご提案につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。
対象者: 2019年11月～2021年12月までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科に入院し、前方循環脳血管閉塞(大脳の前方2/3に血液を供給する3本の主要な血管が詰まったこと)による脳梗塞と診断され、Vitrea workstation (ヴイトリアワークステーション)*にて画像評価を行い、2022年3月31日までに観察期間3か月を終了された方。(50症例程度を予定)

*Vitrea workstation (ヴイトリアワークステーション):

CTの画像から、すでに脳梗塞になっている領域と、脳梗塞になるであろう脳血流が低下した領域を算出、表示することができる全自動画像解析プログラム。

方法: ヴイトリアワークステーションによって描出された脳内の血流を評価する画像と、下記項目の診療情報を診療録(カルテ)より取り出し、データ解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 年齢、性別、発症時間、病院到着時間、画像評価時間、治療開始時間、治療終了時間、虚血コア領域体積(すでに脳梗塞になっている部分の体積)、ペナンブラ領域体積(脳梗塞になりかけている部分の体積)、治療デバイス(治療に用いる道具)等

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表医師: 藤田 聡 役職: 助教

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者さんに不利益になることはありません。患者さんご本

人はもちろん、ご家族等、代諾者の方からのお問い合わせもお受けいたします。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科

職位・氏名： 助教 ・ 藤田 聡

電話： 03-3468-1251 内線： 7436